

研究テーマ	概要
	<p>3.成果 桜、楠、屋久杉材等高級家具への利用化はそれぞれ木材の長所を活用し構造強度接合接着と併せて、切削刃物の形状と刃付に重点を置き、更に美的要素を求め屋久杉扉に対し蒔絵加飾技法を用いて視覚効果を高めた。</p>
<p>10. 編組竹製品の研究試作</p> <p style="text-align: right;">大西 洋</p>	<p>1.目的 本県で生産されている竹製品は、花器類、箆類、室内装飾品、屋外用品など多品種に亘っているが、経済の変動や後進国製品の影響をうけ伸びなやみがみられる現状に対応して新製品の開発と製品拡大を図るため試作を行う。</p> <p>2.概要 竹の材質的特性を生かし基本編組を応用した編組技法で以て花箆を中心に盛器、花台、壁面加飾製品などの試作を行い、造型と使い良さを検討し細ひご編組製品としてまとめた。</p> <p>供試材 真竹 孟宗竹 煤竹 小径竹 補助材料 割藤 つづら 染料 棕櫚縄 ガラス 単板 染料 塗料</p> <p>試作品 投入花箆類 色紙掛 盛器類 敷板 花器</p> <p>3.結果 各試作品のデザインや造形分野からみて若干問題は残っているが編組技法の安易さと使い良さは業界にも一部受け入れられ、また第1回竹製品まつりに出品展示して好評を得ている。</p>
<p>11. 間伐材の利用開発</p> <p style="text-align: right;">池田 次男</p>	<p>1.目的 間伐材による、開発研究は広範囲にわたり、その利用化が進められているが、今回は間伐材の開発利用の一環として、特に内装材にその重点を置いて、研究試作し、間伐材による製品開発を図り、その普及利用を意図する。</p> <p>2.概要 供試材 樹種スギ材の間伐小径木 接着剤 尿素樹脂系接着剤 フェノール樹脂含浸材の挽板 パーティクルボード(厚さ7mm) ラワン合板(厚さ4mm, 7mm)</p> <p>間伐材の内装材への試行として、表面は無垢の挽板を配列したもの、樹脂含浸材とした挽板によるもの、小幅ものを集成接着した挽板にしたものの、3区分とし、裏面はパーティクルボード、合板、併用型など、それぞれ装飾効果をねらい、研究試作を実施する。</p> <p>3.成果 パーティクルボードのものは、反張を生じて製品価値を損じ、合板利用のものは、コストの面で難点があり、これらの商品化には、大いに期待されながらも、市場開拓の問題などを含め、更に検討をしていきたい。</p>
<p>12. 県産材の建材利用研究 (2) (桧材による壁面内装材)</p> <p style="text-align: right;">鎌田 正義</p>	<p>1.目的 根曲り材、乱尺材を建築用建材製品として検討を加えその材質・構造等を究明し高度利用を図り業界への普及を寄与するものである。</p> <p>2.概要 小径木、乱尺材、根曲り材及び床板材不適材を壁面用材として利用するため、フィンガージョイント工法を取入れ長尺製品の原板とし構造的に強度を保持し、品質向上を図り特殊刃物、治具などの検討を加え試作した。</p>